

2024年
8/23企業と博士人材の交流会の **ここがおススメ!****おススメ①****新たなキャリアパスの
可能性と出会える!****おススメ②****研究の活かし方の
ヒントが得られる!****おススメ③****博士への多種多様な
期待を知る!**昨年度の参加博士から、**後輩への熱いメッセージ**

このイベントに参加し、多くの企業が博士人材を必要としていることを直接聞くことで、**博士後期課程進学者の就職先は多様である**と認識を改めました。大学や公的研究機関への就職だけを希望する学生でも、**就職や人生設計に対する視野を広げる**という目的で参加されると有意義だと思います。

今まで知らなかった企業や就職を考えていなかった企業と、意外にも自分の研究がマッチすることがあります。視野が広がったため、**D1から参加することを強くおすすめします。**

この**交流会で声をかけていただいた企業に内々定をいただき**、そこに就職することにした。ここで交流した会社の人事の方と顔見知りになれたため、面接の際にリラックスしてのぞめたと思う。

私が交流会に参加して感じた一番のメリットは、**博士を必要とする企業が自ら来てくれる**ということです。博士は修士と違い就活スケジュールや選考方法がバラバラで、企業によっては博士の採用活動を行っていないこともあります。また、就活サイトは博士向けの情報が少ないこともあって企業を調べるハードルが修士と比較して高いです。しかし、交流会の参加企業は博士を求めて来ているので、情報収集も容易ですし、場合によっては研究内容を見て企業側から見学会や選考の案内を教えてください。就職は考えていても具体的な行動が分からない人は、交流会に参加して**就職活動を始めるきっかけ**にするといいと思います。

自身の研究に対して、企業の方からのコメントが得られる稀有な機会だと思います。また、企業研究者としてのキャリアを考えている人にとっては、企業での研究がどのようなものかを知るための**絶好の機会**だと思います。

企業側が博士人材に求めていることを知るいい機会になると思います。また、普段参加している学会では出会うことのない企業の方とも交流ができ、**自身のネットワークの幅を広げることができ**ると思います。

午前中のセッションで自身の研究についてポスター発表したのち、企業の方とお話をする構成であるため、今までやってきたことを相手の方が理解したうえで就職について話し合うことができる。これによって、就職後の配属先やキャリアパスなどの具体的な内容を考えることができた。

アカデミックを志望している文系ですが、普段の研究発表とは異なる場でお話することで、**自分の研究について新しい観点から考えることができました**。企業の方にどのようなコメントをいただけるだろうかと少し不安もありましたが、皆様興味深く聞いてくださり、ご質問もいただけて、大変良い機会となりました。特に、**意外な企業の方から研究内容を活かせる可能性についてお話をいただき**、研究を続けていく上での励みになりました。現在、企業への就職を考えていなくても、交流会の趣旨を理解してプレゼンをすれば自分のためになることが多いと思います。

企業の方への研究紹介や自己PRの内容を考える機会になったと同時に、これまで知らなかった企業を知る機会になった。**博士人材を求める企業と一度に多くの接点を持てる機会**はあまりないと思うので、選択肢を広げることができ、自分に合った企業を考えるよい機会になる。

